オペレーティングマニュアル - 日本語

FUJITSU

PRIMERGY SX910 S1
ストレージブレード

オペレーティングマニュアル

2010 年 10 月版

DIN EN ISO 9001:2008 に準拠した認証を取得

高い品質とお客様の使いやすさが常に確保されるように、
このマニュアルは、DIN EN ISO 9001:2008
基準の要件に準拠した品質管理システムの規定を
満たすように作成されました。

cognitas. Gesellschaft für Technik-Dokumentation mbH
www.cognitas.de

著作権および商標

Copyright © 2010 Fujitsu Technology Solutions GmbH.

All rights reserved. お届けまでの日数は在庫状況によって異なります。技術的修正の権利を有します。

使用されているハードウェア名とソフトウェア名は、各メーカーの商標名および商標です。

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Hyper V は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Intel および Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、『安全上のご注意』およびマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

電波障害対策について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

アルミ電解コンデンサについて

本製品のプリント板ユニットやマウス、キーボードに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。

目安として、通常のオフィス環境（25 ℃）で使用された場合には、保守サポート期間内（5 年）には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働等、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

外国為替及び外国貿易法に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

高調波電流規格について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

日本市場の場合のみ：

SATA ハードディスクドライブについて

このサーバの SATA バージョンは、SATA/BC-SATA ストレージインターフェースを搭載したハードディスクドライブをサポートしています。ご使用のハードディスクドライブのタイプによって使用方法と動作条件が異なりますので、ご注意ください。

使用できるタイプのハードディスクドライブの使用方法と動作条件の詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

http://primeserver.fujitsu.com/primergy/harddisk/

日本市場の場合のみ：

本書に記載されていても日本市場には適用されない項があります。以下のオプションおよび作業がこれに該当します。

- USB Flash モジュール（UFM）
- CSS（Customer Self Service）
- リチウムバッテリーの交換

ñéü

1 はじめに 9

1.1 このマニュアルの概念と対象読者 10
1.2 ドキュメントの概要 10
1.3 性能特性 11
1.4 表記規定 12
1.5 技術仕様 13

2 注意事項 15

2.1 安全について 15
2.2 静電気に敏感なデバイスのラベル 17
2.3 CE 準拠 18
2.4 RFI の抑制 18
2.5 輸送についての注意 18
2.6 環境保護 19

3 取り付け 21

3.1 インストール手順 22
3.2 ストレージブレードの開梱 22
3.3 ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットへの取り付け / ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットからの取り外し 23

4 設置と操作 29

4.1 各部名称 29
4.1.1 ストレージブレードの表示ランプ 29
4.1.2 テープドライブのコントロールと表示ランプ 31
4.2 ストレージブレードを動作させる 33

5 トラブルシューティングとヒント 35

索引 37

1 はじめに

図 1: PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレード

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードは、PRIMERGY BX900 S1 ブレードサーバおよび BX400 S1 ブレードサーバと、それらの後継モデルのストレージサブシステムとして使用します。

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードを使用すると SAS テープドライブを対応するコントローラと共に取り付けることができ、ストレージブレードは PRIMERGY BX900 S1 または BX400 S1 システムユニットのベイを 1 つ占有します。

最大 6 つの PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードを BX900 S1 システムユニットに取り付けることができます。

最大 4 つの PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードを BX400 S1 システムユニットに取り付けることができます。

1.1 このマニュアルの概念と対象読者

このオペレーティングマニュアルには、サーバの設置方法、セットアップ方法、操作方法が記載されています。

このオペレーティングマニュアルの対象読者は、ハードウェアを設置して、システムをスムーズに動作させる作業を担当している方々です。ご購入いただきました PRIMERGY SX910 S1 を動作させるために必要なすべての情報が記載されています。

さまざまな拡張オプションを理解するには、ハードウェア分野およびデータ伝送分野に精通している必要があり、根幹である OS の基礎知識が必要です。

1.2 ドキュメントの概要

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードについての詳細は、以下のドキュメントに記載されています。

– 『Safety Notes and Regulations』マニュアル
  『安全上のご注意』（日本市場向け）
– 『Warranty』マニュアル
  『保証書』（日本市場向け）
– 『Returning used devices』マニュアルおよび『Service Desk』リーフレット
  『サポート＆サービス』（日本市場向け）
– “LTO-3 Half-Height SAS Tape Drive” manual
  『内蔵 LTO3 ユニット 取扱説明書』（日本市場向け）
– “LTO-4 Half-Height SAS Tape Drive” manual
  『内蔵 LTO4 ユニット 取扱説明書』（日本市場向け）
– “LTO-5 Half-Height SAS Tape Drive” manual
  『内蔵 LTO5 ユニット 取扱説明書』（日本市場向け）

PRIMERGY の各種マニュアルは、ServerView Suite DVD 2 に、PDF 形式で収録されています。ServerView Suite DVD 2 は、すべてのサーバに付属している ServerView Suite の一部です。

ServerView Suite DVD をお持ちでない場合は、オーダー番号 U15000-C289 を使用して、当該の最新バージョンを入手できます（日本市場向けのオーダー番号については、サーバのシステム構成図 *http://primeserver.fujitsu.com/primergy/system.html* を参照）。

マニュアルの PDF ファイルを、インターネットから無料でダウンロードすることもできます。インターネットで入手できるオンラインドキュメントの一覧ページ（URL : *http://manuals.ts.fujitsu.com*）を表示できます（EMEA 市場向け）PRIMERGY サーバのドキュメントは、*Industry standard servers* ナビゲーションオプションをクリックすると入手できます。

日本市場の場合は以下の URL をご使用ください。
http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html

1.3 性能特性

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードには LSI 1064E タイプの SAS コントローラが搭載され、SAS インターフェースを使用して LTO4HH および LTO5HH タイプのテープドライブを制御します。

ストレージブレードには SAS コントローラ用のスロットが 2 つあります。そのため、次の構成オプションがあります。

コントローラを下部スロットに取り付ける

コントローラはストレージブレードの左側のサーバブレードにアクセスします。これにより、テープドライブを左側のサーバブレードで使用できます。

コントローラを上部スロットに取り付ける

コントローラはストレージブレードの右側のサーバブレードにアクセスします。これにより、テープドライブを右側のサーバブレードで使用できます。

1.4 表記規定

このマニュアルでは、以下の表記規定が使用されています。

斜体のテキスト	コマンドまたはメニューアイテムを示します。
かぎ括弧（「 」）	章の名前や強調されている用語を示します。
二重かぎ括弧（『 』）	他のマニュアル名などを示しています。
►	記載されている順序で行う必要がある作業です。
注意！	この記号が付いている文章には、特に注意してください。この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、生命が危険にさらされたり、システムが破壊されたり、データが失われる可能性があります。
	追加情報、注記、ヒントを示しています。

1.5 技術仕様

電気仕様

エネルギー消費	40 W
発熱量	144 kJ/h

規則および基準の遵守

製品の安全性とエルゴノミクス	IEC 60950-1/2 /EN 60950-1/2、 UL/CSA 60950-1/2、 CNS 14336 /GB 4943/EN 50371
電磁環境適合性	FCC クラス A CNS 13438 クラス A、VCCI クラス A AS/NZS CISPR 22 クラス A/GB 9254 クラス A GB 17625
干渉の排出量	EN 55022 クラス A
高調波電流	EN 61000-3-2
フリッカー	EN 61000-3-3
干渉耐性	EN 55024、EN 300386
EU ガイドラインの CE マーク	低電圧指令 2006/95/E（製品の安全性） 電磁環境適合性 2004/108/EC
機械的環境条件	EN 60721-3-3、クラス 3M2

認証

製品の安全性	
世界共通	CB
ヨーロッパ	ENEC
ドイツ	GS、CE
米国 / カナダ	CSA_{US} / CSA_{C}
日本	VCCI
中国 / 台湾	BSMI

機械的仕様

高さ	204 mm（シャーシの高さ 210.5 mm）
奥行き	508 mm（レバーを含めて 525 mm）
幅	45 mm（システムユニットに 1 ベイ）

質量

最大 4.025 kg（構成によって異なる）。

周囲の環境

環境クラス 3K2 環境クラス 2K2	EN 60721 / IEC 721 Part 3-3 EN 60721 / IEC 721 Part 3-2
温度 : 動作時（3K2） 運送時（2K2）	 5 ºC ~ 35 ºC -20 ºC ~ 60 ºC
湿度	10% ~ 85%（結露なきこと）

動作中の結露は絶対に避けてください。

2 注意事項

この章では、ストレージブレードを取り扱う際の安全についての注意事項について説明します。

2.1 安全について

以下の安全上についての注意事項は、『安全上のご注意』マニュアルにも記載されています。

このデバイスは、IT 機器関連の安全規則に適合しています。目的の環境にサーバを設置できるかどうかについてご質問がある場合は、販売店または弊社カスタマサービス部門にお問い合わせください。

注意！

- 本書に記載されている作業は、技術担当者以外は行わないでください。
- 機器の修理は、サービススタッフだけが行うようにしてください。
- このマニュアルのガイドラインを遵守しなかったり、機器を不正に開いたり、不適切な修理を行うと、（感電、エネルギーハザード、火災により）ユーザーが危険にさらされたり、装置が破損する可能性があります。
- 不正にサーバを開けると保証が無効となり、メーカーの責任は免除されますので、ご注意ください。
- デバイスを設置する際、および操作する前に、お使いのデバイスの環境条件についての指示を守ってください（13 ページ の「技術仕様」の項を参照）。
- サーバを低温環境から移動した場合は、マシンの内部 / 外部の両方で結露が発生することがあります。

  サーバが室温に順応し、完全に乾燥した状態になってから、作業を始めてください。この要件が満たされないと、サーバが破損する場合があります。

注意！

- デバイスを輸送する際は、必ず元の梱包材に入れるか、あるいは、衝撃からサーバを保護するように適切に梱包してください。
- デバイスの ID プレートに指定された定格電圧が、現地の電源と同じことを確認します。
- 荒天時には、データ伝送路の接続または切断は行わないでください（落雷の危険性があります）。
- ブレスレットやペーパークリップなどの物や液体がデバイス内部に入る可能性がないことを確認します（感電やショートの危険性があります）。
- 空いているすべてのスロットおよび空いているすべてベイのダミーにスロットカバーが取り付けられ、上面カバーが装着されている（冷却、防火、RFI 抑制）場合のみ、（IEC 60950-1/DIN EN 60950-1 に従って）システムの正しい動作が保証されます。

2.2 静電気に敏感なデバイスのラベル

静電気に非常に弱いコンポーネントが搭載されたモジュール

静電気によって破損のおそれがあるシステムおよびコンポーネント（ESD）には、以下のラベルが貼付されています。

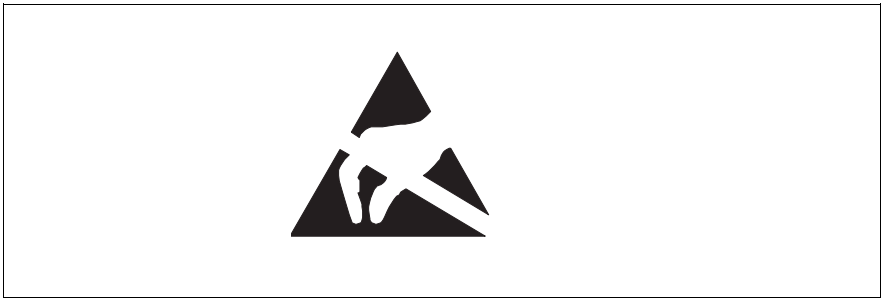

図 2: ESD ラベル

ESD が装着されているコンポーネントを取り扱う際は、どのような環境下であっても、以下のポイントを守ってください。

- ESD を含むコンポーネントを取り付けまたは取り外しの前に、電源プラグを外す。
- 作業の前に、接地された物に触れるなどして静電気の帯電を常に放電する必要がある。
- 使用する装置およびツールは、非帯電である必要がある。
- コンポーネントは、緑色で示す部分（タッチポイント）のみを触れる。
- コンポーネントのピンまたは導体には手を触れない。
- コンポーネントの取り付けの際は、この目的のために作られた接地ケーブルなどを使用して、人体と筐体をつなぎ、静電気を逃がす。
- すべてのコンポーネントを静電気防止の表面に置く。

ESD コンポーネントの取り扱い方法についての詳細は、欧州規格および国際規格（DIN EN 61340-5-1、ANSI/ESD S20.20）を参照してください。

2.3 CE 準拠

システムは、「電磁環境適合性」および 2006/95/EC「低電圧指令」についての EC 指令 2004/108/EC の要件に適合しています。このことは、CE マーク（CE = Communauté Européenne）で示されます。

2.4 RFI の抑制

この製品に接続する他のすべての装置も、EC 指令 89/336/EEC に従って電波雑音の抑制が必要です。

この要件を満たす製品には、メーカーが公表した効果に対する認証が付き、CE マークが貼付されます。この要件を満たさない製品は、BZT（German Federal Approvals Office for Telecommunications）の特別な許可を受けた場合のみ動作させることができます。

2.5 輸送についての注意

ストレージブレードを輸送する際は、必ず元の梱包材に入れるか、あるいは、衝撃からサーバを保護するように適切に梱包してください。

設置場所に着くまで、ストレージブレードを開梱しないでください。

2.6 環境保護

環境に優しい製品の設計と開発

この製品は、「環境に優しい製品の設計と開発」のための弊社基準に従って設計されており、耐久性、資材選択やラベリング、排出物、梱包材、廃棄などにおいて、リサイクルしやすいように配慮されています。

これによって資源が節約され、環境への危害が軽減されます。詳細は、以下の場所に記載しています。

– *http://ts.fujitsu.com/products/standard_servers/index.html* （EMEA 市場向け）
– *http://primeserver.fujitsu.com/primergy/concept/* （日本市場向け）

エネルギーの節約について

常に電源を入れておく必要のないサーバは、必要になるまで電源を切ることはもとより、長期間使用しない場合や、作業の完了後も電源を切る必要があります。

梱包材について

以下の梱包材についての情報は日本市場には適用されません。

梱包材は捨てないでください。システムを輸送するために、梱包材が後日必要になる場合があります。装置を輸送する際は、できれば元の梱包材に入れてください。

消耗品の取り扱いについて

プリンタ消耗品やバッテリーを廃棄する際は、各国の規制に従ってください。

EU ガイドラインに基づき、分別されていない一般廃棄物と一緒にバッテリーを廃棄することはできません。バッテリーは、メーカー、販売店、委任代理店が無料で回収し、リサイクルや廃棄を行っています。

汚染物質が含まれているバッテリーには、すべてマーク（ゴミ箱の絵に×印）が付いています。また、以下のような重金属の化学記号も記載されます。この記号が付いているバッテリーは、汚染物質を含むバッテリーとして分類されます。

Cd カドミウム
Hg 水銀
Pb 鉛

プラスチックのケーシング部分に貼られたラベル

プラスチック部分には、お客様独自のラベルをできる限り貼らないでください。リサイクルが困難になります。

返却、リサイクルと廃棄

返却、リサイクル、および廃棄する際は、各自治体の規制に従ってください。

一般廃棄物と一緒にデバイスを廃棄することはできません。このデバイスには、欧州指令 2002/96/EC の電気・電子機器廃棄物指令（WEEE）に従ってラベルが貼られています。

この指令によって、使用済み機器の返却およびリサイクルの枠組みが設定され、EU 全土で有効です。使用済みデバイスを返却する際は、利用可能な返却および収集方式をご使用ください。詳細は、*http://ts.fujitsu.com/recycling* に記載しています。

ヨーロッパでのデバイスおよび消耗品の返却とリサイクルについての詳細は、『Returning used devices』マニュアルにも記載されています。このマニュアルは、最寄の弊社の支店、または Paderborn のリサイクルセンター（Recycling Center）で入手できます。

Fujitsu Technology Solutions
Recycling Center
D-33106 Paderborn

電話　+49 5251 8 18010

Fax　+49 5251 8 333 18010

3 取り付け

注意！

- 15 ページ の「注意事項」の章の章の安全についての注意事項に従ってください。
- ストレージブレードを極端な環境に置かないでください（13 ページ の「技術仕様」の項を参照）。ストレージブレードを塵埃、湿度、高温から保護してください。
- ストレージブレードを動作させる前に、この表に示すサーバが環境に順応するための時間を確保してください。

温度差（° C）	（時間）
5	3
10	5
15	7
20	8
25	9
30	10

表 1: 環境に順応する時間

表「環境に順応する時間」に記載されている環境に順応する時間とは、オペレーティング環境の温度と、ストレージブレードが以前に置かれていた温度（外気温度、輸送温度、または保管温度）との差異のことです。

3.1 インストール手順

- ストレージブレードを開梱します（このページの次の項を参照）。
- ストレージブレードをシステムユニットに取り付けます（23 ページ の「ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットへの取り付け / ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットからの取り外し」の項を参照）。
- ストレージブレードを動作させます（「設置と操作」の章の 33 ページ の「ストレージブレードを動作させる」の項を参照）。

3.2 ストレージブレードの開梱

注意！

「注意事項」の章の安全についての注意事項に従ってください。

今後輸送する場合に備えて、ストレージブレードの元の梱包材は保管しておいてください。

- すべての部品を開梱します。
- 輸送中の破損がないかどうか確認します。
- 配達された商品が納品書に記載されている詳細と一致しているかどうかを確認します。
- 保証書の最初のページが完全に記入されているかどうかを確認します。

納品物が破損していたり納品書と一致しない場合は、直ちに納入業者に連絡してください。

3.3 ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットへの取り付け / ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットからの取り外し

構成については、PRIMERGY BX400 S1 オペレーティングマニュアルを参照してください。

注意！

- 15 ページ の「注意事項」の章の安全についての注意事項に従ってください。

取り付けの規則

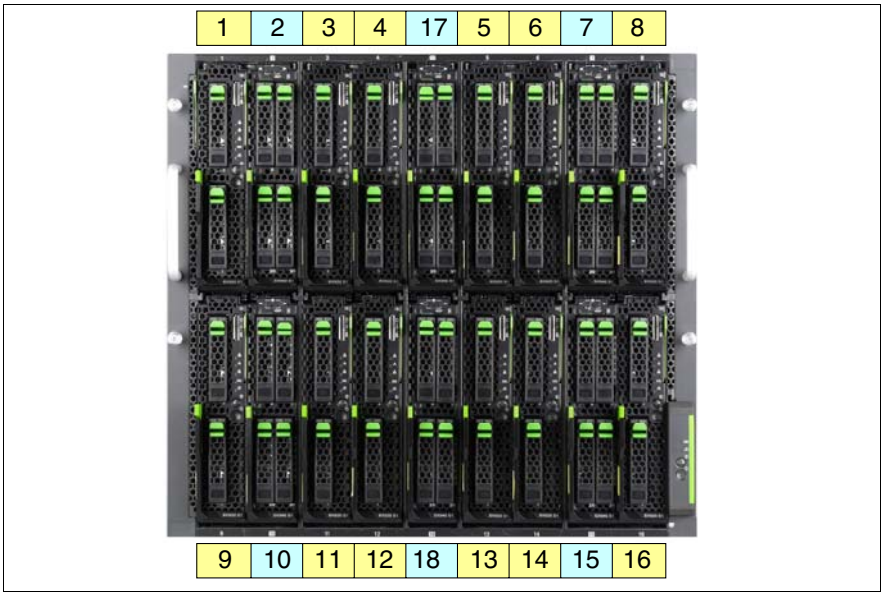

図 3: サーバブレードスロットの番号

スロット 2、17、7、10、18 および 15 に SX910 S1 ストレージブレードを接続できます。これにより、右または左のサーバブレードにバックアップ機能を提供することができます。

ストレージブレードの異なる構成は、システムユニットで操作できます。

ダミーモジュールの取り外し

システムユニットの前面にある未使用スロットには適切なダミーモジュールを取り付け、電磁環境適合性（EMC）指令に準拠し、システムコンポーネントを十分に冷却してください。背面の電源ユニットスロットには必ずしも取り付ける必要はありません。

ストレージブレードを追加する場合は、最初に該当するスロットのダミーモジュールを取り外します。

図 4: ダミーモジュールの取り外し

► リリースレバー（1）を押し上げて、ハンドルを使ってスロットからダミーモジュールを引き出します。

注意！

ダミーモジュールは今後使うかもしれないので、保管しておいてください。ストレージブレードまたはサーバブレードを取り外してから新しいストレージブレードまたはサーバブレードに交換しない場合は、冷却するためにダミーモジュールを取り付けて、EMC 指令に準拠し、火災から保護してください。

ダミーモジュールの取り付け

リリースレバーを使用して、ダミーモジュールをカチッという音がするまで空のスロットにスライドさせて固定します。

ストレージブレードの取り付け

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードは動作中に取り付けることができ、マネジメントブレードに認識されます。サーバブレードと通信するには、関連するサーバブレードを再起動してストレージブレードを有効にする必要があります（33 ページ の「ストレージブレードを動作させる」の項を参照）。

注意！

17 ページ の「静電気に敏感なデバイスのラベル」の項の安全についての注意事項に従ってください

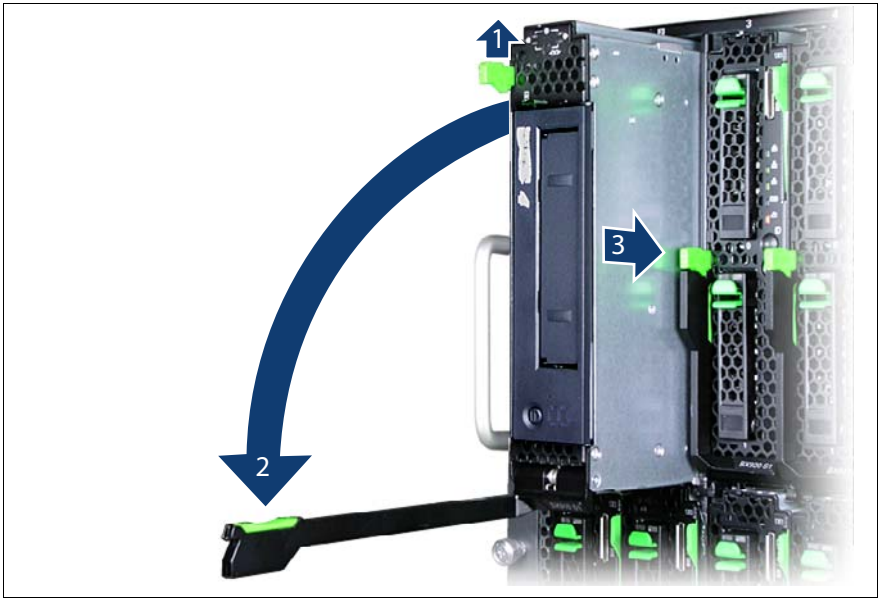

図 5: ストレージブレードのロックの解除と取り付け

ストレージブレードが正しく取り付けられていることを確認します。コントロールパネルが上部の領域にあるはずです。

► リリースレバーのロック機構（1）を外します。

- ► リリースレバー（2）を開きます。
- ► ストレージブレードを空のスロット（3）の奥まで押し込みます。

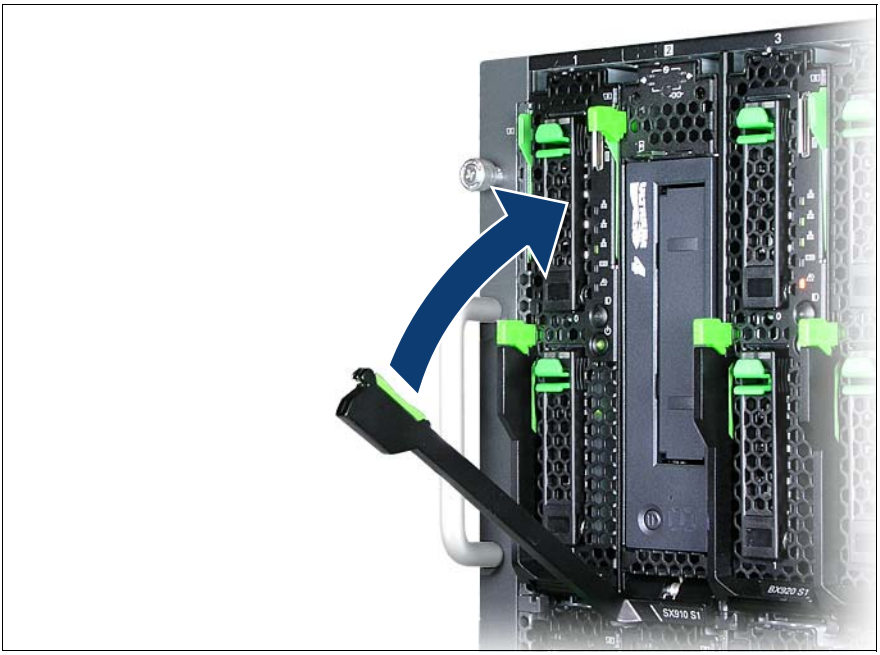

図 6: ストレージブレードのロック

- ► リリースレバーをカチッと音がしてロックレバーに固定されるまで押します。

ストレージブレードの取り外し

ストレージブレードを取り外すには、まず関連するサーバブレードの電源を切ります。

- サーバブレードの電源ボタンを使用するか、マネジメントブレードの Web インターフェースを使用して、サーバブレードの電源を切ります（『PRIMERGY BX900 Blade Server Systems ServerView Management Blade S1 User Interface Description』マニュアルを参照）。
- リリースレバーのロック機構を外します。
- リリースレバーを開きます。
- ストレージブレードをスロットから引き出します。

注意！

ストレージブレードを取り外して新しいストレージブレードに交換しない場合は、空のスロットにダミーモジュールを取り付けてください。

4 設置と操作

4.1 各部名称

4.1.1 ストレージブレードの表示ランプ

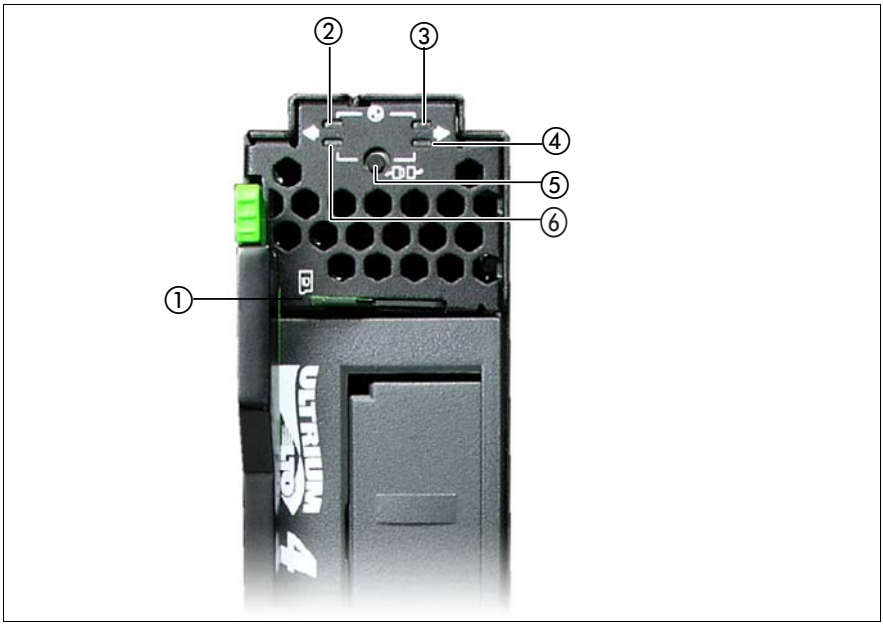

図 7: ストレージブレードの表示ランプ

1	識別カード
2	電源（緑） – 点灯 : 左側のサーバブレードの電源がオン – 消灯 : 左側のサーバブレードの電源がオフ
3	電源（緑） – 点灯 : 右側のサーバブレードの電源がオン – 消灯 : 右側のサーバブレードの電源がオフ
4, 5, 6	現在未使用

識別カード

識別カード (29 ページ の図 7) をいっぱいまで引き出して、元に戻せます。

識別 カードには、製品名、シリアル番号、オーダー番号、MAC アドレスおよび DNS 名など、各種システム情報が記載されています（日本市場の場合、製品名、シリアル番号および MAC アドレスのみ）。

4.1.2 テープドライブのコントロールと表示ランプ

この項では、LTO-4 テープドライブのコントロールと表示ランプについて説明します。LTO-3 および LTO-5 テープドライブについては、『LTO-3 Half-Height SAS Tape Drive』マニュアル、『LTO-5 Half-Height SAS Tape Drive』マニュアル、『内蔵 LTO3 ユニット 取扱説明書』（日本市場向け）および『内蔵 LTO5 ユニット 取扱説明書』（日本市場向け）を参照してください。

図 8: LTO-4 テープドライブのコントロールと表示ランプ

1	イジェクト ボタン
2	状態表示ランプ（緑 / オレンジ）
3	7 セグメントディスプレイ
4	モード表示ランプ

LTO-4 テープドライブの表示ランプの意味

ドライブの状態	7 セグメント LED	LED ドット	2 色ステータス LED
電源オフ	なし	Off	Off
電源オン	なし	Off	緑
初期化 / 電源投入時自己診断実行中	ポストパターン	点滅	琥珀色
初期化 / 電源投入時自己診断成功	なし	3 秒間点灯	緑
アクティブ / ビジー、またはカセットの取り付け中または取り外し中	なし	Off	緑の点滅
カセット取り付け準備済み	なし	Off	緑
書き込み保護されたカセットが取り付けられた	P	Off	琥珀色の点滅
ファームウェアのダウンロード中またはアップデート中	F	点滅	琥珀色の点滅
診断実行中	機能依存	点滅	琥珀色
クリーニング要	C	On	琥珀色の点滅
クリーニング動作実行中	C	点滅	緑の点滅
期限切れのクリーニングカセットが検出された	7	Off	琥珀色の点滅
温度異常	1	Off	オレンジの点滅
電源異常	2	Off	オレンジの点滅
ファームウェア異常	3	Off	オレンジの点滅
ファームウェア / ハードウェア異常	4	Off	オレンジの点滅
ハードウェア異常	5	Off	オレンジの点滅
メディアまたはハードウェアの異常	6	Off	オレンジの点滅
メディア異常	7	Off	オレンジの点滅
インターフェース異常	8	Off	オレンジの点滅
低パフォーマンス動作	A	Off	オレンジの点滅
カセットの取り付けまたは取り外し異常	異常依存	Off	オレンジの点滅
保守モードダンプ使用可能	なし	点滅	消灯

表 2: LTO-4 テープドライブの表示ランプの意味

テープドライブの使用方法の詳細については、『LTO-4 Half-Height SAS Tape Drive』マニュアルを参照してください。

4.2 ストレージブレードを動作させる

PRIMERGY SX910 S1 ストレージブレードは動作中に取り付けることができ、マネジメントブレードに認識されます。サーバブレードと通信するには、関連するサーバブレードを再起動してストレージブレードを有効にする必要があります。

ストレージブレードがシステムユニットに正しく挿入されているかを確認します（23 ページ の「ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットへの取り付け / ストレージブレードの BX900 S1 システムユニットからの取り外し」の項を参照）。

- ストレージブレードに関連するサーバブレードは、以下の 2 通りの方法で再起動できます。
  - サーバブレードのコントロールパネルで電源ボタンを押す
  - マネジメントブレードの Web インターフェースを使用する（『PRIMERGY BX900 Blade Server Systems ServerView Management Blade S1 User Interface Description』マニュアルを参照）。

関連するサーバブレードが動作状態になるとすぐ、ストレージブレードの電源表示ランプが緑に点灯します。これでストレージブレードのテープドライブを設定できます。

5 トラブルシューティングとヒント

注意！

15 ページ の「注意事項」の章の安全についての注意事項に従ってください。

関連するサーバブレードの電源を入れても、ストレージブレードの電源表示ランプ（29 ページ の図 7 を参照）が点灯しない場合、以下の手順に従ってください。

PRIMERGY BX900 S1 システムユニットおよび PRIMERGY BX400 S1 システムユニットにおいて、サーバブレードの動作中に発生する可能性のある異常への対処法に関するすべての情報は、該当するシステムユニットのオペレーティングマニュアルに記載されています。

異常が発生した場合は、以下の説明に従って対処してください。

– ご利用のシステムユニットのオペレーティングマニュアルの「トラブルシューティングおよびヒント」の章
– インストールされているコンポーネントに関する章
– 接続しているデバイスのドキュメント
– 使用されている個々のプログラムのヘルプシステム。

問題を解決できない場合は、次の手順に従います。

► 異常が発生したときに行った手順と状況をメモします。表示されたエラーメッセージもメモします。

► 故障したサーバブレードまたはシステムの電源を切ります。

► カスタマサービス部門までご連絡ください。

索引

C
CE マーク　13, 18

E
EMC
　指令　13
ESD（静電気に敏感なデバイス）　17

R
RFI の抑制　18

あ
安全基準　13
安全について　15

え
エネルギーの節約　19

か
開梱　22
環境クラス　14
環境に順応する時間　21
環境保護　19

き
技術仕様　13
規則および基準　13

こ
コントロールパネル　29
梱包材　19

さ
サーバ
　周囲の環境　14

し
識別カード　29
周囲の環境　14
重量　14
消耗品　19

す
ストレージブレード
　安全基準　13
　重量　14
　寸法　14
　電気仕様　13

た
対象読者　10
ダミーモジュール
　取り付け　24

て
低電圧指令　13, 18
デバイスの返却　20
テープドライブ
　環境に順応する時間　21
　表示ランプ　31
電気仕様　13
電磁環境適合性　13, 18

と
取り付け
　ダミーモジュール　24

に
認証
　製品の安全性　14

は
破棄 , デバイス　20

ひ
表記規定　12
表示ランプ　29
　テープドライブ　31
　電源　29

ら
ラベル　20

り

リサイクルデバイス　20